

# 別府市公共交通活性化協議会 議事録

日 時：平成 27 年 4 月 27 日（月）15 時～15 時 45 分  
会 場：別府市水道局 3 階 大会議室

## （事務局説明）

- ・委員 19 名のうち、2 名欠席、3 名代理出席により、設置規約第 7 条第 2 項の規定を満たしているため、会議の成立を報告。

## 1. 報 告

### （1）委員の交代について

- （事務局説明）省略
- （質疑応答）なし

### （2）別府市生活交通バス系統実態調査について

- （事務局説明）省略
- （質疑応答）なし

## 2. 議 題

### （1）別府市公共交通活性化協議会設置規約の一部改正について

#### （事務局説明）

- ・地域公共交通確保維持改善費補助金交付要綱の改正に伴い必要部分の改正を行う。
- ・文中の「生活交通ネットワーク計画」を「生活交通確保維持改善計画」に改める。

（質疑応答）なし

（協議結果）原案のとおり承認する。

### （2）平成 26 年度 歳入歳出決算（案）について

- （事務局説明）省略
- （質疑応答）なし

（協議結果）原案のとおり承認する。

### （3）平成 27 年度 歳入歳出予算（案）について

#### （事務局説明）

- ・歳入の国庫補助金及び歳出の別府市地域公共交通網形成計画策定調査業務委託料は、補助金交付申請を行った額を計上したが、4 月 24 日（金）の夕方、九州運輸局からの連絡で半額以下の提示を受けた。
- ・業務の仕様を変更して補助額の範囲内で実施するか、予算の再編成を行って実施するかについて、議題(4)で承認を求めようとしている選定委員会の場で協議し、決定したい。
- ・平成 27 年度予算案については、再度協議会の開催あるいは書面会議になるが、これについても事務局で検討させてほしい。

(質疑応答) なし

(協議結果) 承認を保留し、継続審議。

#### (4) 別府市地域公共交通網形成計画策定調査業務委託業者選定委員会の設置について

(事務局説明)

- ・別府市地域公共交通網形成計画を完成させるための業務工程として、大量のデータ収集及び整理、交通事業者へのヒアリングなど多岐に亘る業務を想定している。本業務を実施するに当たっては、コンサルタント業者へ委託したい。
- ・業者選定に当たっては、価格競争による競争入札を行うのではなく、委託上限額と業務仕様書を提示して企画提案の形で競争するプロポーザルを実施したい。
- ・プロポーザルにより最優秀企画提案者を選定して、その業者と随意契約を交わし、業務実施に移りたい。
- ・この一連の業務を遂行するため、選定委員会を設置したい。

(質疑応答) なし

(協議結果) 原案のとおり承認する。

### 3. その他

#### ●協議会の開催時期等について

(会長)

- ・協議会はいつ頃、どういう形を考えているのか。

(事務局)

- ・選定委員に就任した方々と協議し、その結果に基づき各委員に諮りたい。
- ・会議の開催または書面決議のいずれかについて、この場で意見を頂きたい。

(会長)

- ・事務局一任ということではいかがか。

(委員)

- ・異議なし。

#### ●その他

(委員)

- ・補助金の額については、交付決定予定額ということであり、4月28日までに実施の意向を確認する。実施の方向となれば、5月1日に交付決定を予定している。
- ・補助金額の範囲中で事業を実施するという考えでなく、別府市の財源を手当して地域公共交通網形成計画を策定することも真剣に考えて頂きたい。
- ・地域公共交通網形成計画の次の段階に地域公共交通再編実施計画がある。是非そこまで繋がるような地域公共交通網形成計画を作って頂きたい。

(オブザーバー)

- ・補助金減額の可能性については、九州の全自治体に対して知らせていた。その中で、減額されても財源を手当して実施するという自治体と、決定された金額分で実施するという自治体は半々ぐらいであった。
- ・申請額から半減されているため、調査のサンプル数、調査期間、調査対象等については単純に半分減る訳だから、その半分のサンプルにより地域公共交通網形成計画の策定

が可能かどうか、しっかりと審議・議論してもらいたい。若干、不安や疑問が残る。

(副会長)

- ・予算が半分になったからと言って、調査内容が半分になると考えていない。やり方次第で半分の金額でも出来ると思っている。
- ・選定委員会の方できちんと詰めていきたいと考えており、選定委員会に選出されたメンバーも意見を一にしていると思っている。
- ・今回、県内で補助金の交付を受けられる市町村は別府市だけとのこと。それを誇りとして、今後この協議会も含めてきちんと良い物を作り上げて行くために委員皆様の知恵が必要になる。是非、協力してもらいたい。

(委員)

- ・県の立場としても、作るのであればきちんとしたものを是非作って頂きたい。
- ・特に県内の市町村のうち補助金を取れたのは別府市だけということもあり、今後の大分県内の都市における網計画の先進事例になるのは間違いない。半減された分、内容が乏しくなったような計画を作ることは避けるべき。
- ・プロポーザルの仕様を作成するときも、当初の申請額で作ったときの気持ちで作成し、それに応募してくるコンサルタント業者を選定するという形になれば良い。

(事務局)

- ・単純に仕様の一部を削除するという発想もあったが、指摘があったように「何のために行うか」という視点を持ってきちんと仕様書を作り、公募したい。